



学校だより

教育目標 ~ 生命を尊び 思いやりの心をもつ 自ら考え たくましく生きる ~

1月号

令和8年1月8日

町田市立小山田中学校

町田市小山田桜台 1-12

TEL 042 (797) 4545

雁の群れの秘密

校長 吉田 知弘

今日から3学期が始まります。改めまして、昨年中は本校の教育活動に様々なご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。今年も教職員一同、生徒たちのために誠心誠意努力いたします。保護者、地域の皆様方には、本年も変わらず、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

本校では3学期もたくさんの行事や取組があります。

1年生は来週、スキー移動教室を実施します。3日間仲間と過ごし、スキーの技術だけでなく、集団生活を通して社会性や規律ある態度・協調性などを育みます。

2年生は今月末に鎌倉校外学習に出かけます。3年生で行う修学旅行を見据え、自分たちで計画を立て、時程や交通等を調べ、その計画通りに行動する力を養います。

3年生は自らの進路実現に向けた取組がラストスパートです。3年間苦楽を共にした仲間と互いに支え合いながら、悔いの残らない3学期を過ごそうとみんな一生懸命です。

一人一人がそれぞれの学校生活を充実させるためのキーワードの一つに「友達」「仲間」があると思います。各学年でのこれらの行事や取組にもすべて「一緒に頑張る仲間」があります。仲間同士が互いに助け合い、励まし合うことで普段以上の力を発揮したり、予想以上の成果や効果をあげたりする。といったことは私たちにも経験があります。

こういった「仲間の大切さ」の例として、「雁の群れの秘密」がよく挙げられます。すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、その概要は以下のとおりです。

冬を越すために南に向かう雁がV字型の編隊を組んでいくのはなぜでしょう？

V字型で飛ぶと一羽で飛ぶよりも7割も遠くまで飛べるそうです。前の雁が羽ばたくと、後続の雁のために上昇気流を作り出すことができるので、後続の雁は楽に飛ぶことができます。後ろの雁はガーガーと鳴いて前の雁を励します。先頭の雁は疲れると最後尾に回って別の雁と交代します。V字型の編隊から脱落しそうになっても、一羽で飛ぶと抵抗が大きいのですぐに編隊に戻ってきます。群れの一羽が病気や怪我で脱落すると、二羽の雁が助けるために付き添って地上に降ります。この二羽は脱落した雁が回復するか死ぬまで一緒にいて、その後、新しい群れに加わるか、独自の編隊を作つて元のグループに追いついていきます。仲間同士が助け合つて飛ぶことで大きな力を作り出し、一羽では考えられないくらい遠くまで飛んでいくことができるのです。

同じ志を持ち、同じ目標に向かって一緒に進む人がいると信じられないくらいのパワーを発揮できるのです。「1+1」が「5」にも「10」にもなるのです。

3学期は、1・2年生は中堅学年や最高学年に向けて、3年生は4月から始まる新しい生活に向けて、それぞれ準備を始める大切な時期です。今の仲間と今の環境で過ごせる期間は残り2ヶ月余りとなりました。生徒一人一人が自らを成長させていくために、そして自分たちの仲間や学級、学年、学校をより良い方向に向かわせていくために、仲間と支え合い、励まし合つて、温かな充実した日々を過ごして欲しいと願っています。

2年生家庭科 出前授業

12月18日（木）、東京ガス株式会社の方々を講師としてお招きし、2年生の家庭科で『食生活から学ぶSDGs～はじめよう！エコクッキング～』の授業を行いました。

今年度小山田中学校では、道徳授業地区公開講座の講演のなかで、全校生徒と保護者、地域の方が一緒にSDGsについて考え、SDGsへの理解を深めてきました。家庭科の授業でも、夏休みの課題を通して町田市で栽培されている旬の野菜を使った「朝食レシピ」作りに挑戦しました。今回の出前授業では、「～地球にやさしい食生活を目指そう～」として、SDGsの視点から4つのポイント「①買い物のポイント②調理③食事④片付け」について学習を深めました。①買い物のポイントとして、旬の食材を選ぶ、近くでそれた食材を選ぶ、必要な量を購入する、②調理のポイントでは、ガスの炎の大きさを調整してエネルギーを上手に使うこと、③食事では、食材を丸ごと使いきり、材料をムダにしないこと、④片付けでは、洗う前に食器についた汚れをふき取り、水を大切にし、排水を汚さないことを学びました。冬休みの課題にも今回の学習が生かされており、お雑煮を調理する際に、水やガスの使い方を意識し、旬の野菜を取り入れたり、火加減を工夫したりしながら課題に取り組んだ報告がありました。当日の授業でも講師の方からの問い合わせに、多くの生徒が積極的に発言している姿が見られました。

これまでのSDGsの講演や家庭科の学習が日常の家庭生活にも生かされ、これから社会をつくる力となってくれることを願っています。

～今回の出前授業で学習したSDGs（持続可能な開発目標）～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



～積極的に発言する生徒たち～

「届けよう“服の力”プロジェクト」（小山田南小）～成果報告～

12月17日（水）に小山田南小学校の6年生の代表が来校し、今回のプロジェクトの成果を報告してくれました。小山田中学校も今年度、SDGsについて全校で学んだことから、この活動を応援するため中央昇降口に回収ボックスを設置し、保護者の皆様にもご支援、ご協力をお願いしました。小山田中学校からは約300着の衣類の寄付が集まり、プロジェクトを推進する大きな力となりました。集められた衣類は、今後、世界の難民キャンプに向けて届けられる予定です。たくさんのご家庭、保護者の皆様からご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。



～小学生が取組の成果を報告に来てくれました～

給食用エレベータ設置工事について

かねてより設置の計画があった給食用エレベータについて、町田市教育委員会より設置工事決定の報告がありました。今後、プレハブ校舎の解体等、エレベータの設置工事に向けた準備が始まる予定です。具体的な工事日程等は詳細が決まり次第、お便り等を通じてお知らせいたします。